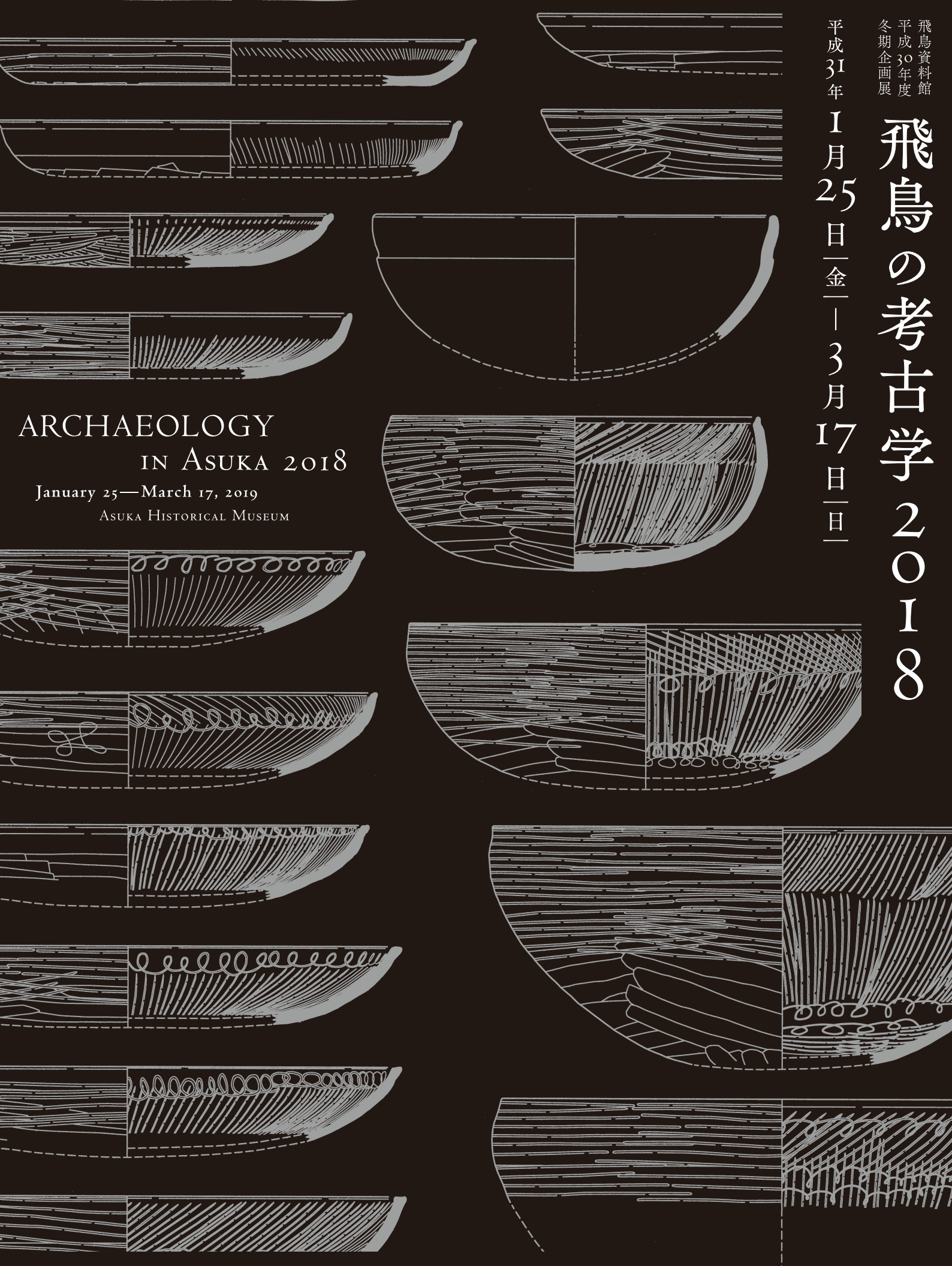


飛鳥資料館
平成30年度
冬期企画展

飛鳥の考古学 2018

平成31年 1月25日(金) - 3月17日(日)



ARCHAEOLOGY
IN ASUKA 2018
January 25—March 17, 2019
ASUKA HISTORICAL MUSEUM

月曜日休館 ※ただし2月11日(月・祝)は開館し翌平日を休館 / 2月3日(日)・24日(日)は無料入館日
主催 | 独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館、奈良県立橿原考古学研究所、明日香村教育委員会 後援 | 文化庁、近畿日本鉄道株式会社
開館時間 | 午前9時から午後4時30分、入館は4時まで
入館料 | 一般[個人] 270円 [団体] 170円、大学生[個人] 130円 [団体] 60円、高校生及び18才未満・65歳以上(年齢のわかるものが必要)は無料

奈良文化財研究所

飛鳥資料館

飛鳥の考古学 2018

ARCHAEOLOGY
IN ASUKA 2018



2



3



4



1

飛鳥地域では、近年でも精力的に発掘調査が行われています。

飛鳥中枢部においては、小山田遺跡(小山田古墳)で横穴式石室の痕跡が調査され、この古墳が石舞台古墳に匹敵する石室をもっていた可能性が高まりました。飛鳥寺西方遺跡では、飛鳥時代の石組溝や建物跡がみつかりました。10年にわたるこれまでの調査成果とあわせ、「槻木の広場」推定地における土地利用の具体的状況がわかってきました。山田寺の西600m付近で行われた山田道の調査では、古墳時代後期に造られた池を確認しました。飛鳥時代中ごろには、池のすぐ北側に山田道が通されたこともわかり、6世紀から7世紀にかけて調査地周辺でなされた、度重なる地形改変の様子が判明しました。また、飛鳥寺北部域での調査は、幅約1.5mの狭小なトレンチ調査でしたが、160点を超える軒瓦など、大量の遺物が出土し、飛鳥寺に投入された物的資源の膨大さを垣間見ることができます。

さらに、飛鳥の周辺部においては、1987年に検出された四条1号墳が再調査され、外濠北辺が新たに確認されたことで、古墳の大きさについて、より確実な復元が可能になりました。与楽古墳群にある与楽イモリ1号墳では、石室内から多数の副葬品がみつかり、渡来系氏族の奥津城の一端を知ることができます。

今回の展覧会では、これらの遺跡を中心に、2017年度に飛鳥・藤原地域で行われた発掘調査の成果を紹介します。また、あわせて、近年、調査分析の進展がみられた石神遺跡などから出土した多数の土器も展示します。

この冬は、発掘調査と最新研究が明らかにした飛鳥の新発見をぜひお楽しみください。



5

- 1 | 四条遺跡 調査区全景(上から南)
- 2 | 坂田寺跡 池SG100出土「市」へら書き土器
- 3 | 山田道の調査(飛鳥藤原第193・194次) 南区全景(南東から)
- 4 | 飛鳥寺西方遺跡 遠景(南西上空から)
- 5 | 石神遺跡 南北溝SD640出土土器

奈良文化財研究所 飛鳥資料館

奈良県高市郡明日香村奥山601
Tel. 0744-54-3561 Fax. 0744-54-3563
E-mail info.shiryokan@nabunken.go.jp
http://www.nabunken.go.jp/asuka/

交通 | 近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から、明日香周遊バスで「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車
または近鉄・JR桜井駅から、「明日香奥山・飛鳥資料館西」行きバスで「飛鳥資料館」下車
駐車場 | 無料 普通車11台分(近くに有料駐車場あり)

関西から

